

令和 6 度事業報告

(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

1 はじめに

当協会は、平成元年 4 月に社団法人として発足し、平成 23 年 6 月からは公益法人制度改革により公益社団法人として再スタートした。その後、平成 29 年 4 月に名称を現在の神奈川県産業資源循環協会に改称し、産業廃棄物の適正処理及び資源化の推進に関する諸事業を通して、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るとともに、県民福祉の向上及び循環型社会づくりの促進に寄与している。

2 産業廃棄物処理業の状況

神奈川県産業廃棄物処理実績調査報告書によると、令和 5 年度に県内の処理業者が県内で発生した産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）を受け入れた量は 7,523 千 t（令和 4 年度 10,179 千 t）、県外で発生した産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を除く）を受け入れた量は 2,249 千 t（令和 4 年度 3,234 千 t）であった。

また、公益社団法人全国産業資源循環連合会（全産連）の「産業廃棄物処理業景況動向調査報告書」（2025 年 1－3 月期）によると、経営上の問題点として「従業員の不足」が最も高く、次いで「修理、修繕等の増加」、「人件費の増加」の順となっている。

3 行政の取組み

昨年 5 月に「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律」（再資源化事業等高度化法）が公布され、8 月に「第 5 次循環型社会形成推進基本計画」が閣議決定される等、資源循環と脱炭素化を促進する枠組み、位置付けが大きく進み、動脈産業、静脈産業、自治体、市民・消費者がそれぞれ連携しながら、脱炭素（C N）と循環経済（C E）の同時達成に向けた取組が求められている。

また、プラスチック資源循環法が施行され、製品設計から廃棄物処理段階に至るまでのあらゆる主体による資源循環の促進を優先的に進めており、産業廃棄物の適正処理については、電子マニフェストの普及拡大や許可業者に関する情報公開の充実化などデジタル化が進められている。

神奈川県においては、循環型社会づくり計画が令和 6 年 3 月に改定され、基本理念である「廃棄物ゼロ社会」を目指し、「資源循環の推進」「適正処理の推進」「災害廃棄物対策」の 3 つの施策を柱に、安全安心な適正処理及び資源循環の推進に取り組んでいる。

4 協会の取組み

令和 2 年から始まったコロナによる様々な制限が緩和され、経済活動は戻ってきたが、大幅な円安、燃料代の値上げ、人手不足など業務に大きな影響があると予想される。

こうした状況や業界を取り巻く社会・経済環境等を踏まえ、当協会は、循環型社会づくりにおける重要な役割と地位を担い、適正処理と資源循環の更なる推進に向け、コンプライアンスの徹底、人材育成の推進、労働災害の防止、脱炭素に向けた取組、災害廃棄物処理の支援などの事業を行政や関係団体と連携・協力して実施した。

公益目的事業

1 産業廃棄物の適正処理のための法的事項、安全衛生等の普及啓発及び情報提供等による普及啓発

(1) 法定事項の遵守、コンプライアンス等の向上及び不法投棄・不適正処理の防止の普及啓発並びに調査研究に基づく普及啓発

ア 法定事項の遵守、コンプライアンスの向上の普及啓発

(ア) マニフェスト等の普及啓発事業

産業廃棄物の処理に係る法定事項である委託契約書、マニフェスト(産業廃棄物管理票)、帳簿を遵守・徹底し、適正処理のコンプライアンスを向上・徹底するため、委託契約書、マニフェスト等を頒布(533,200セット)しました。

また、排出事業者向けに廃棄物の分別、処理業者と契約、マニフェストの交付の3つのルールを徹底するチラシを作成し、事業者、会員等に配布するとともに、ホームページに掲載し、活用できるようにした。

(イ) 産業廃棄物処理業者基本台帳整備・許可期限通知事業

産業廃棄物処理業の更新時の混乱による無許可営業を防止するため、更新期限の通知を行いました。(年2回実施)

通知文発送日	許可期限日範囲	発送件数
R6. 7. 30	R6. 11. 1～R7. 6. 30	87 社
R7. 3. 10	R7. 6. 1～R8. 1. 31	104 社

(ウ) 許可講習会等の実施協力事業

産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請者、処理業務従事者、実務者に対する講習会や検定試験の実施に協力し、法定の資格遵守を普及啓発しました。

a 許可講習会の試験〔(公財) 日本産業廃棄物処理振興センター実施〕

講習会名・講習内容		開催日	受講者数	会 場
新規 許可講習会	収集・運搬課程	R6. 5. 23AM	139 名	かながわ労働 プラザ(横浜市)
		R6. 7. 23PM	128 名	
		R6. 9. 19AM	122 名	
		R6. 12. 4～5(対面)	132 名	
		R7. 2. 19AM	131 名	
	処分課程(収集・ 運搬課程と合同)	R6. 5. 24AM R6. 9. 19PM	19 名 86 名	
	特別管理産業廃棄 物収集運搬課程	R7. 2. 19PM	82 名	
	特別管理産業廃棄 物収集処分課程		10 名	
更新 許可講習会	収集・運搬課程 (特別管理産業廃 棄物収集運搬課 程)	R6. 5. 23PM	144 名	
		R6. 7. 23AM	138 名	
		R6. 9. 20AM	140 名	
		R6. 11. 6(対面)	143 名	
		R6. 11. 7AM	139 名	
		R7. 2. 18(対面)	146 名	
		R7. 2. 20AM	144 名	
		R7. 3. 6AM	140 名	

	処分課程(収集・運搬課程と合同)	R6. 5. 24AM	30 名	
特別管理産業廃棄物管理責任者講習会		R6. 5. 24PM	98 名	
		R6. 7. 24AM	142 名	
		R6. 9. 18 (対面)	144 名	
		R6. 9. 20PM	144 名	
		R6. 11. 7PM	106 名	
		R7. 2. 20PM	140 名	
		R7. 3. 5 (対面)	142 名	
		R7. 3. 6PM	138 名	

(エ) 排出事業者・行政との懇談会等の事業

事業者と行政及び処理業界との懇談会・懇話会の開催

会議名、場所	開催日	出席者数	内容等
県央地区行政との勉強会 (厚木アーバンホテル)	R6. 4. 26	17 名	①産業廃棄物、資源循環に関する最近の動向について(講師 神奈川県県央地域県政総合センター 環境部長 寺下 明文 氏) ②産業廃棄物処理に関する指導状況ほかについて(講師 相模原市廃棄物指導課 総括副主幹 武田 秀雄 氏)
地区セミナー、湘南・県西地区行政との勉強会 (県小田原合同庁舎)	R6. 8. 27	24 名	①災害廃棄物に関する取組について(講師：湘南・県西地区委員会委員長 金田 勝俊 氏) ②廃棄物処理法などの法改正等の通知について(講師 神奈川県県西地域県政総合センター 環境部環境調整課長 長谷川 圭一 氏)
廃棄物対策協議会との懇話会 (湘南・県西地区委員会) (平塚商工会議所大ホール)	R7. 2. 14	65 名	①廃棄物処理における排出事業者責任について(講師 神奈川県湘南地域県政総合センター 環境調整課長 工藤 美子 氏) ②資源循環産業における脱炭素経営(講師 (公財)神奈川産業振興センター カarbonニュートラル支援アドバイザー 渡邊 一弘 氏) ③令和7年度事業者向け脱炭素支援策(講師 神奈川県環境農政局脱炭素戦略本部室事業者脱炭素グループ 主任主事 上原 博之 氏)

イ 不法投棄・不適正処理の防止の普及啓発

産業廃棄物の不法投棄・不適正処理の発生を未然に防ぐため、神奈川県、市町村等が行う廃棄物不法投棄防止・撲滅キャンペーン事業や不法投棄物の撤去作業に参加して、不法投棄・不

適正処理の防止を普及啓発するとともに、会員の優良事業所や優良従業員を表彰し、コンプライアンスの向上を推進しました。

(ア) 不法投棄防止等キャンペーン参加

委員会名	実施日	地 域	実施場所	主催・実施主体	事業内容
横浜地区委員会	R6. 10. 6	横浜市	山下公園、象の鼻パーク等一帯	小さな親切運動 神奈川県本部	山下公園、象の鼻パーク等一帯の清掃活動(約 850 人参加) 会員 58 名参加
県央地区委員会	R6. 9. 8	座間市	相模川座架衣橋付近	県央地域廃棄物対策推進協議会	座架依橋付近の相模川河川敷の清掃活動(全参加者 1,028 名)会員 29 名参加
	R6. 11. 14	厚木市	市内全域	県央地域廃棄物対策推進協議会	不法投棄防止合同パトロール
	R6. 11. 15	座間市	市内全域	県央地域廃棄物対策推進協議会	不法投棄防止合同パトロール
	R6. 10. 20	相模原市	市立中野中学校校庭	津久井地域不法投棄防止協議会	不法投棄撲滅キャンペーン(第 1 回)
	R7. 2. 18	相模原市	緑区吉野・長竹・青山付近	津久井地域不法投棄防止協議会	不法投棄撲滅キャンペーン(第 2 回)
湘南・県西地区委員会	R6. 5. 26	藤沢市内	鵠沼海岸ほか	藤沢市・かながわ海岸美化財団	第 48 回ゴミゼロクリーンキャンペーン地区会員 125 名参加 (全体 4,160 名)
	R6. 5. 30	南足柄市・湯河原町、山北町・箱根町		山梨県・静岡県・神奈川県合同富士箱根伊豆地域不法投棄防止連絡協議会	不法投棄防止一斉パトロール (全参加者 21 名)会員 8 名参加
	R6. 7. 6	平塚市内	湘南ひらつか七夕まつり会場	平塚商工会議所青年部・平塚青年会議所	クリーンボランティア参加 地区会員 14 名参加

(イ) 適正処理顕彰事業

a 協会表彰

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
功労者表彰	8 名	R6. 6. 19 令和 6 年度定時社員総会
優良事業所表彰	10 社	
優良従業員表彰	28 名	

b 公益社団法人全国産業資源循環連合会表彰

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
功労者表彰	2 名	R6. 6. 19 令和 6 年度定時社員総会

地方功労者表彰	6 名	
優良事業所表彰	1 社	
地方優良事業所表彰	8 社	
優良従事者表彰	10 名	

c 循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
産業廃棄物関係事業功労者表彰	3 名	R6. 11. 15 第 20 回 産業廃棄物と環境を考える全国大会 岐阜グランドホテル（岐阜県）

d 神奈川県県民功労者表彰(神奈川県知事表彰)

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
生活環境	1 名	R6. 6. 12 神奈川県庁

e 神奈川県環境整備功労者表彰(神奈川県知事表彰)

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
環境整備功労者表彰	5 名	R6. 11. 20 神奈川県庁

f 神奈川県環境保全功労者表彰(環境農政局長表彰)

区 分	被表彰者	表彰時期・場所
環境保全功労者表彰	7 名	R6. 7. 30 神奈川県庁

ウ 調査研究に基づく普及啓発

産業廃棄物の適正処理における課題に関する調査研究を行い、制度改善等が望まれる事項について、関係機関等に提言を行いました。

令和 7 年度予算及び施策等の提言

提 言 先	提 出 日
自由民主党(神奈川県支部連合会、神奈川県議会議員団)	R6. 7. 16
公明党(神奈川県本部、神奈川県議団)	R6. 7. 22
神奈川県知事、横浜市長、川崎市長、相模原市長、横須賀市長	R6. 7. 25

(2) 資料・情報の収集・提供、広報による普及啓発

産業廃棄物の処理及び資源循環に関する情報を収集・提供し、産業廃棄物の適正処理・資源化について普及啓発しました。

ア 法令・行政情報等の情報収集・提供

法令、行政や関係団体からの各種通知、案内等の情報、会員情報、災害廃棄物情報等を収集し、情報提供等の基礎資料とするとともに、関連する情報、資料を提供しました。

- ・会員等への行政情報やセミナー案内等の提供：月 1 回情報セット送付
- ・ホームページ掲載による公表：随時更新

イ ネット媒体を利用した情報提供

リニューアルした協会ホームページにより「協会からのお知らせ」、「行政からのお知らせ」、

「関係団体からのお知らせ」等を随時更新し情報提供に努めました。また、ホームページからの「会員連絡メール」を使い連絡、情報発信の改善を行なった。

フェイスブック、メールマガジンに加え LINE 公式アカウントによる情報配信も行いました。

- ・ホームページの運営（随時）、メールマガジンの配信：月 1 回配信
- ・フェイスブック、LINE 公式アカウントへ委員会、講習会等情報等掲載：随時更新

ウ 機関誌による情報提供・広報

機関誌「さーきゅれーしょん」に、産業廃棄物及び資源循環に係る行政情報をはじめ、法令情報、技術情報、労働災害防止のための安全衛生情報、各行事の実施結果、会員に関する情報などを掲載して発行・配布し、処理業者、排出事業者、行政、県民に適正処理や資源循環の推進に関する協会事業や行政情報、関連情報を広報しました。

(ア) 機関誌「さーきゅれーしょん」発行业務

- ・機関誌「さーきゅれーしょん」年 4 回作成し、会員・関係機関等に配布した。

また、第 30 号よりオールカラー化して紙面の刷新を図った。

号 数	発行日	特 集	発行部数
第 29 号	R6. 4. 25	特集 食品廃棄物の資源循環推進のための講習会	780 部
第 30 号	R6. 7. 25	特集 令和 6 年度定時社員総会	780 部
第 31 号	R6. 10. 25	—	780 部
第 32 号	R7. 1. 25	特集 第 14 回安全衛生大会	780 部

(3) 安全衛生の向上・徹底の普及啓発

適正処理推進の基盤である労働者の安全・安心と経営の安定化に向けて処理業の安全衛生の向上・徹底を普及啓発しました。

また、令和 5 年度を初年度とする第 3 次労働災害防止計画（令和 5～7 年度）に基づき、計画に掲げる目標達成に向けた取組を行い、産業廃棄物処理業の安全衛生水準の向上を図りました。

しかしながら、県内産業廃棄物処理業において、ベルトコンベアによる巻き込まれの災害が起こったことから、労働災害「ゼロ」に向けた緊急要請、チラシの配布等を行い会員に周知・徹底するとともに、安全衛生大会や地区セミナーにおいて労働災害防止の取組の徹底を図りました。

ア 安全衛生パトロールによる普及啓発

職場の安全衛生パトロールを行い、職場の状況・実態に応じた安全衛生方策を協議して課題を解決するなど、処理業者の職場改善を行う。実施にあたっては労働安全衛生の専門家が同行して助言、指導等を行いました。

安全衛生パトロール実施状況

種 別	実施日	対 象
安全衛生パトロール		未実施

イ 安全衛生の情報収集・提供

職場の労働災害防止や安全衛生の向上を図るため、安全衛生大会や講習会等を開催し、労働災害の発生実態や原因、具体的な対策について普及啓発を行いました。

また、令和 2 年度に改訂した「労災防止マニュアル〔第 3 版〕」を活用しながら、現場で活用できる具体的な対策等を普及啓発しました。

・安全衛生大会

開催日	参加者数	内 容 等
R6. 12. 4	83 名	労働安全衛生標語の優秀作品発表、表彰式 最優秀賞 「確かめる 心のゆとりが 事故防止」 (株)IWD 福原 修一 氏 優秀賞 ①「安全は、一人一人が責任者」 中央カンセー(株) 辻野 章 氏 ②「積み上げよう 無事故無違反 ゆとりの心」 日本メディカル・ウェイト・マネジメント(株) 青山 雅之氏 ③「即改善 みんなで目指す ゼロ災害」 (株)ライズ 太田 智也 氏 講演 「産業廃棄物処理業における労働災害発生の現状」 講師：神奈川労働局労働基準部安全課 安全専門官 原田 朗功 氏 「労働災害における送検事例と化学物質による労働災害防止のため の新たな規制について」 講師：労働安全コンサルタント 二階堂 久 氏

・安全衛生研修会

開催日	参加者数	場 所	研 修 内 容
R7. 1. 17	32 名	かながわ労働 プラザ 3F	「産業廃棄物処理業における労災防止マニュアル の使い方」 (講師：労働安全コンサルタント 二階堂 久 氏) 参加費 2,000 円(テキスト代込み)

・地区セミナーにおける安全研修会

開催日	参加者数	場 所	研 修 内 容
R6. 11. 26	38 名	かながわ労働 プラザ5, 6, 7 会 議室	横浜地区セミナー 「安全衛生法令違反による送検事例と産廃業の取 消要件」 (講師：労働安全コンサルタント 二階堂 久 氏)
R7. 2. 17	25 名	川崎市産業振 興会館 9F 第 3 研修室 F	川崎地区セミナー 「安全衛生法令違反による送検事例と産廃業の取 消要件」 (講師：労働安全コンサルタント 二階堂 久 氏)
R7. 2. 19	38 名	厚木アーバン ホテル	県央地区セミナー 「廃棄物処理業における安全衛生の諸課題につい て」 (講師：労働安全コンサルタント 二階堂 久 氏)

ウ 安全衛生事例等による普及啓発

会員企業の労働災害やヒヤリ・ハット事例の調査を行い、改善策の実施効果等を取りまとめるとともに、日常的な安全衛生活動の実施状況や各社が力を入れている取組内容等を収集し、機関誌「さーきゅれーしょん」に掲載するほか、各社の現場管理方法や作業方法等の見直しや改善など労働安全衛生活動の推進を図りました。

エ 安全衛生優良事業所等の顕彰による普及啓発

安全衛生優良事業所とその担当役員・従業員の顕彰を行い、安全衛生の向上・徹底を普及啓発しました。

令和6年度安全衛生協議会安全衛生表彰

区 分	表彰対象	表彰時期
5年表彰	1社	R6.6.19(令和6年度定時社員総会)
年度表彰	15社	
優良役員・従業員表彰	9名	

(4) 全産連等との連携による適正処理の普及啓発

都道府県域を超えて処理される産業廃棄物の適正処理を推進するため、全国の処理業者や関係団体と連携・協力して適正処理を普及啓発しました。

ア 全産連等との連携による適正処理の推進

公益社団法人全国産業資源循環連合会の役員・委員として運営や諸事業に参画し、国等からの指導・助言を受け、情報を収集し、共通課題を協議・調査研究し、課題解決を進めて、適正処理を普及啓発しました。特に、当協会役員等が安全衛生委員会、医療廃棄物部会、建設廃棄物部会再生土木資材分科会に委員として参加し、各事業を推進して適正処理を普及啓発しました。

(ア) 全産連連携普及啓発事業

公益社団法人全国産業資源循環連合会の会議に次のとおり参加等しました。

a 総会、賀詞交歓会

開 催 日	会 場 等
R6.6.14(第14回定時総会)	明治記念館
R7.1.10(賀詞交歓会)	明治記念館

b 理事会等

開 催 日	会 場 等
R6.5.21(第71回)	全産連会議室及びweb会議ハイブリット形式
R6.7.9(第72回)	全産連会議室及びweb会議ハイブリット形式
R6.9.9(臨時理事会)	全産連会議室及びweb会議ハイブリット形式
R6.10.8(第73回)	全産連会議室及びweb会議ハイブリット形式
R7.1.10(第74回)	明治記念館(東京都港区)、
R7.3.11(第75回)	全産連会議室及びweb会議ハイブリット形式

c 全国正会員事務局責任者会議

開 催 日	会 場 等
R7.2.4	web開催

d 委員会・部会・連絡会

開催日	委員会・部会会場等
R6. 9. 11	第 1 回安全衛生委員会 web 会議
R7. 1. 23	第 2 回安全衛生委員会 web 会議
R6. 4. 4	第 1 回医療廃棄物部会運営委員会

e 関東地域協議会等

開催日	会場等
R6. 4. 16	第 72 回会長会議・協議会 東京大神宮マツヤサロン(千代田区)
R6. 11. 8	第 73 回会長会議・協議会 パレスホテル大宮 (さいたま市)
R6. 10. 9	第 1 回事務責任者会議 web 会議
R7. 3. 28	第 2 回事務責任者会議 web 会議
R7. 3. 24	育成就労制度について web 会議
R7. 2. 28	事務担当者会議 (神奈川県開催)
R6. 7. 12	第 1 回建設廃棄物対策員会及び実務担当者会議 Web 会議
R6. 10. 15	第 2 回建設廃棄物対策員会及び実務担当者会議 大手町サンケイプラザ 301 号室
R6. 8. 21	第 6 回災害廃棄物委員会 大手町サンケイプラザ 311 号室

f 青年部協議会

開催日	会場等
R6. 6. 19	総会 (A P 新橋 (東京都))
R6. 6. 7	関東ブロック協議会通常総会 (栃木県)
R6. 11. 27	第 14 回カンファレンス in えひめ (愛媛県)
R6. 2. 14	関東ブロック賀詞交歓会 (神奈川県)

イ 全国大会での適正処理の推進

公益社団法人全国産業資源循環連合会等が主催し、環境省等が後援する「産業廃棄物と環境を考える全国大会」に参加し、全国の協会員等と共同して適正処理の普及啓発を行いました。

第 20 回 産業廃棄物と環境を考える全国大会

開催日	会場
令和 6 年 11 月 15 日	岐阜グランドホテル (岐阜県)

ウ 関係団体との連携による適正処理の推進と社会貢献の取組

産業廃棄物の適正処理を推進するため、排出事業者等関係団体の事業への参加や情報交換等を行い、連携して適正処理の推進と社会貢献に取り組みました。

(ア) 連携した関係団体

- ・公益社団法人神奈川県環境保全協議会
- ・一般社団法人東京都産業資源循環協会(一都三県建設混合廃棄物意見交換会、一都二県医療廃棄物合同懇談会)
- ・一般社団法人千葉県産業資源循環協会 (一都三県建設混合廃棄物意見交換会)

- ・一般社団法人埼玉県環境産業振興協会（一都三県建設混合廃棄物意見交換会）
- ・公益社団法人静岡県産業廃棄物協会（一都二県医療廃棄物合同懇談会）
- ・公益財団法人かながわ海岸美化財団
- ・一般社団法人神奈川県建設業協会
- ・神奈川県ホームレス協議会
- ・神奈川県医師会
- ・独立行政法人労働者健康安全機構 神奈川産業保健総合支援センター
- ・神奈川県中小企業団体中央会

（イ）一都二県医療廃棄物合同懇談会

実施日 令和6年9月6日

場所 鉄鋼エグゼクティブラウンジ&カンファレンスルーム（東京都千代田区）

参加者 東京都産業資源循環協会 15名

神奈川県産業資源循環協会 8名（医療廃棄物部会員、事務局参加）

静岡県産業廃棄物協会 5名

内容 ・各協会挨拶及び活動紹介

・宮城県医療廃棄物処分業者の不適正処理事案について意見交換会

（ウ）社会貢献の取組

- ・各地区委員会による不法投棄防止キャンペーン等へのボランティア参加（再）
- ・ピンクシャツデー2024 in 神奈川 「いじめストップ！ワールドアクション」への後援名義使用承認

（5）体験学習会等による普及啓発

県民、児童、大学生等に環境を守ることの難しさや産業廃棄物の適正処理と処理業界への認識を深めてもらうため、会員企業において産業廃棄物の排出から処理までの過程を見学・体験してもらう。

- ・未実施

（6）県受託事業等の推進

循環型社会の形成及び環境保全を図るため、受託事業等推進委員会が県等と連携して産業廃棄物の適正処理の推進及び資源循環の推進に関する調査研究やセミナーの開催、普及啓発などを実施しました。

ア 産業廃棄物処理業者講習会①及び廃棄物処理施設技術管理者講習会②

実施日 令和7年10月22日 波止場会館6階多目的ホール

参加者 処理業者51名 技術管理者52名（重複あり）

講演① 処理業の許認可申請に関する最新の周知事項

講師 神奈川県環境農政局環境部資源循環推進課 技師 白石 鮎実 氏

講演② リチウムイオン電池等の混入による事故

講師 一般財団法人日本環境衛生センター 環境工学第一部部長 藤原 周史 氏

イ 食品廃棄物の削減に向けた普及啓発等事業

食品リサイクル施設見学会の実施

実施日 令和6年12月6日 参加者 43名

見学場所

① 堆肥化施設 (株)イヅミ環境八王子バイオマス・エコセンター

② 飼料化施設 (株)日本フードエコロジーセンター

③ メタン発酵ガス発電施設 さがみはらバイオガスパワー(株)

ウ プラスチックの資源循環推進に係る普及啓発等事業

プラスチックの資源循環推進のための講習会

オンラインセミナーの開催、セミナーの配信用動画の作成

開催方式：ライブ配信によるオンライン方式（会場：アットビジネスセンター会議室）

実施日 令和6年2月3日 参加者 96名

講演① プラスチックの資源循環の今後の方向性

講師 クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス 柳田 康一 氏

講演② プラスチックのリユース・リサイクルの取組事例

講師 花王コスメプロダクツ小田原(株) 廣瀬 正誠 氏

講演③ 今後のプラスチックリサイクルで注目すべき技術

ヴェオリア・ジェネッツ(株) 堀口 昌澄 氏

2 産業廃棄物の適正処理及び資源循環の推進に関する研修会、講習会等の開催及び後継者等の人材育成

(1) 研修会、講習会等の開催

産業廃棄物処理業者及び排出事業者の適正処理及び資源循環の推進等に関する意識と資質の向上のため及び職場の安全衛生と産業廃棄物処理業界の安全衛生水準の向上のため、法令、知識、技術及び技能に関する研修会、講習会、セミナー及び視察見学会の開催を計画し、実施可能な事業に取り組みました。

ア 講習会等開催事業

(ア) 研修委員会

「産業廃棄物処理実務者研修会基礎コース」

開催日	参加者数	場 所	講 習 内 容
R6. 12. 3	58 名	開港記念会館 1 号室	全産連発行の「産業廃棄物処理実務者研修会 テキスト」に沿って、処理の基礎、委託契約、マニフェストと帳簿などの講義を実施。（講師 JWセンター 講師 川添 義明氏） 参加費 3,000 円（テキスト代込み）

(イ) 安全衛生協議会

「安全衛生研修会」（再掲）

開催日	参加者数	場 所	研 修 内 容
R7. 1. 17	32 名	かながわ労働 プラザ 3F	「産業廃棄物処理業における労災防止マニュアルの使い方」 （講師：労働安全コンサルタント 二階堂 久 氏） 参加費 2,000 円（テキスト代込み）

(ウ) 安全衛生協議会及び収集運搬部会

「ドライバーズ及び車両管理者講習会」

開催日	参加者数	開催方法・場所	講習内容
R6. 4. 15	約 64 名	神奈川県保健総合支援センターからオンライン配信	①2024 年問題への対応～時間外労働の上限規制を踏まえた労務管理について～ (講師 神奈川労働局労働基準部 監督課 監察監督官 柏原 周造氏) ②職場のメンタルヘルスのすすめ方～不調者の実態把握と相談体制のづくりのポイント～ (講師 Wholwell (ホールウェル) 合同会社 代表 松尾 玲奈 氏)

(エ) 法令研修会

開催日	参加者数	場 所	研修内容
R6. 9. 3	23 名	かながわ労働プラザ	産業廃棄物処理検定試験（全産連主催）の受験者等を対象とした法令研修会
R7. 1. 28	62 名		

(オ) 県受託産業廃棄物等講習会（再掲）

開催日	参加者	開催場所等	講習内容
R6. 10. 22	処理業者 51 名 技術管理者 52 名 (重複あり)	かながわ労働プラザ	産業廃棄物処理業者講習会 廃棄物処理施設技術管理者講習会 ①処理業の許認可申請に関する最新の周知事項 ②リチウムイオン電池等の混入による事故
R7. 2. 3	96 名	ライブ配信、オンライン	プラスチックの資源循環推進のための講習会 ①プラスチックの資源循環の今後の方向性 ②プラスチックのリユース・リサイクルの取組事例 ③今後のプラスチックリサイクルで注目すべき技術

イ 地区セミナー・視察見学会

(ア) 地区セミナーの開催

委員会等	開催日	参加者数	会 場	内 容
横浜地区	R6. 11. 26	38 名	かながわ労働プラザ 5, 6, 7 会議室	①「横浜市の事業系プラスチック対策について」 (講師 横浜市資源循環局事業系廃棄物対策部 事業系廃棄物対策課 平 健司 氏) ②「横浜市災害廃棄物処理計画について」 (講師 横浜市資源循環局総務部総務課 山野内 龍 氏)

				③「安全衛生法令違反による送検事例と産廃業の取消要件」 (講師：労働安全コンサルタント 二階堂 久氏)
川崎地区	R7. 2. 17	25 名	川崎市産業振興会館 9F 第3研修室	①「川崎市の災害廃棄物処理、現在の計画と過去の実績について」 (講師 川崎市環境局生活環境部廃棄物政策担当 小澤 徹氏) ②「安全衛生法令違反による送検事例と産廃業の取消要件」 (講師：労働安全コンサルタント 二階堂 久氏)
横須賀地区	R7. 2. 4	10 名	ヴェルク横須賀第3研修室	①「ジェンダー平等の観点から見た企業のリスクと対応」 (講師 佐藤・村松法律事務所 弁護士 佐藤 裕氏)
県央地区	R7. 2. 19	38 名	厚木アーバンホテル	①「廃棄物処理における安全衛生の諸課題について」 (講師 労働安全コンサルタント 二階堂 久氏) ②「企業のハラスメント」 (講師 佐藤・村松法律事務所 弁護士 佐藤 裕氏) ③「土間選別/手作業選別の AI データサイエンス」(講師 トヨタ自動車株式会社 Domatics 三村 健志朗氏)
湘南・県西地区	R6. 8. 27	24 名	県小田原合同庁舎	行政との勉強会 ①「災害廃棄物に関する取組について」 (講師：湘南・県西地区委員会委員長 金田 勝俊氏) ②「廃棄物処理法などの法改正等の通知について」講師 神奈川県県西地域県政総合センター 環境部環境調整課長 長谷川 圭一氏)
	R7. 2. 16	65 名	平塚商工会議所大ホール	廃対協(排出事業者)との懇話会 ①廃棄物処理における排出事業者責任について (講師 神奈川県湘南地域県政総合センター 環境調整課長 工藤 美子氏) ②資源循環産業における脱炭素経営 (講師 (公財)神奈川産業振興センター カーボンニュートラル支援アドバイザー 渡邊 一弘氏) ③令和7年度事業者向け脱炭素支援策 (講師 神奈川県環境農政局脱炭素戦略本部室事業者脱炭素グループ 主任主事 上原 博之氏)

(イ) 産業廃棄物処理施設等の施設見学会の開催

委員会等	開催日	参加者数	見 学 施 設
横浜地区委員会	R7. 1. 24	16 名	A N A機体整備工場
県央地区委員会	R7. 3. 6-7	10 名	石川県中能登町被災地他

(2) 後継者、若手経営者等の養成

産業廃棄物処理業経営者の後継者を養成するため、青年部会の自主企画による産業廃棄物の適正処理のための公益活動を行いました。

・ 青年部会実施公益目的事業

開催日	参加者	場 所 等	活 動 内 容
R6. 6. 1-2	20 名	みなとみらい 21 地区 全域	横浜開港祭 ボランティア活動 ・ 廃棄物の分別指導を通じ廃棄物適正処理 の普及啓発
R6. 10. 4	15 名	横浜開港記念会館	産業廃棄物行政見解事例
R6. 11. 8	14 名	(株)J サーキュラーシス テム	公益事業推進（島根県青年部と施設見学） ・ プラスチック資源の高度化及び脱炭素推 進について学ぶ
R7. 3. 21-22	10 名	日立セメント(株)神立資 源リサイクルセンター	食品廃棄物をメタン発酵処理による食品リ サイクル法に適合について学ぶ

3 産業廃棄物に関する相談対応、指導・助言及び処理業者の紹介

処理業者、排出事業者、県民等からの産業廃棄物処理に関する相談や苦情申し出に対応して適切な処理を指導・助言するとともに、廃棄物の処理を必要とするときは専門の処理業者等を紹介しました。

4 災害廃棄物の処理の支援等

地震等大規模災害発生時における災害廃棄物の処理等については、県との基本協定のほか県内市町村との協定締結を進め、今後の災害時の迅速な対応に向け、各地区委員会において行政との意見交換会を実施するとともに、県や市が主催した災害廃棄物処理訓練に参加しました。

家畜伝染病防疫業務については、県と締結した「特定家畜伝染病発生時における防疫業務に関する協定書」に基づき、協力要請項目の協議や協会協力体制の検討を行うとともに、県実施訓練等に参加した。

(ア) 災害廃棄物の処理対応

a 地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定書の締結状況

- ・ 令和 6 年度協定締結 山北町 (R6. 10. 1)、大井町 (R6. 12. 19)
- ・ 令和 5 年度までに締結した市町 (29 市町)

横浜市、横須賀市、秦野市、葉山町、川崎市、開成町、平塚市、箱根町、相模原市、小田原市、鎌倉市、藤沢市、大磯町、三浦市、綾瀬市、逗子市、座間市、茅ヶ崎市、寒川町、二宮町、南足柄市、中井町、伊勢原市、愛川町、大和市、松田町、厚木市、海老名市、

清川村(協定の締結順)

b 自治体との協議等

実施日	自治体等	内容
R6. 5. 22	県西地域廃棄物対策推進協議会 (県西センター管内 2 市 8 町)	湘南・県西地区委員会 協会の取組みを紹介
R6. 7. 11	川崎市	川崎地区委員会との意見交換会
R6. 7. 18	湘南センター管内 5 市 3 町 1 組合担当学会議	湘南・県西地区委員会 協会の取組みを紹介
R6. 8. 20	市町村等一般廃棄物 主管課長会議専門部会	協会の取組みを紹介 (事務局にて対応)
R6. 10. 7	厚木市、愛川町、清川村、 厚木愛甲環境施設組合	県央地区委員会と各自治体の災害廃棄物 への取組状況などについて意見交換
R6. 10. 23	横須賀市	横須賀地区委員会 二次仮置場候補地視察と意見交換
R6. 11. 27	大和市、海老名市、座間市、 綾瀬市、高座清掃施設組合	県央地区委員会と各自治体の災害廃棄物 への取組状況などについて意見交換
R7. 1. 14	鎌倉市	災害廃棄物処分先等について意見交換 (事務局にて対応)
R7. 2. 7	横須賀市	市、横須賀建設業協会、横須賀地区委員 会と二次仮置場視察と役割分担などにつ いて協議

c 訓練等参加状況

実施日	自治体、訓練名、場所等	内容
R6. 6. 25	鎌倉市災害廃棄物対策初動伝達 机上訓練	市の机上訓練にオブザーバー参加 事務 局 1 名
R6. 11. 11	神奈川県災害廃棄物処理訓練 (仮置場設置等) 高座クリーンセンター環境プラ ザ (海老名市本郷 1-1)	基調講演、ワークショップ・オリエンテ ーション、仮置場実地訓練に参加 運営補助：県央地区委員会から 3 社 6 名 参加：3 名 視察：3 名
R7. 2. 7	相模原市災害廃棄物処理に係る 図上訓練	市の図上訓練に参加 県央地区委員会 2 名、事務局 1 名
R7. 3. 26	横浜市災害廃棄物対策初動対応 机上訓練	市の机上訓練にオブザーバー参加 横浜地区委員会 1 名、事務局 1 名

d 連絡網の点検・確認

協会災害廃棄物処理等支援程に基づき、各地区委員会において地区会員連絡網の点検・確認を行いました。

(イ) 家畜伝染病発生時防疫業務対応

a 訓練参加状況

- ・神奈川県特定家畜伝染病対策防疫演習

実施日 R6. 10. 30 横須賀地区委員会 1 名、事務局 1 名視察
 場 所 横須賀合同庁舎
 内 容 ①座学研修
 ②実動訓練
 ・ベースキャンプ訓練
 ・現場事務所訓練
 ・殺処分訓練

5 専門委員会、地区委員会等の開催

公益目的事業等を円滑に推進するため、Web 会議等も活用しながら次のとおり各委員会・部会を開催しました。

[専門委員会、地区委員会等の開催状況]

委員会等名	開催日	委員会等名	開催日
企画・財政委員会	4 回 R6. 5. 8、9. 4、 12. 11、R7. 3. 5	横浜地区委員会	3 回 R6. 4. 25、7. 4、11. 26
広報委員会	4 回 R6. 4. 12、6. 11、 11. 18、R7. 2. 5	川崎地区委員会	4 回 R6. 4. 18、7. 11、11. 11 R7. 2. 17
研修委員会	3 回 R6. 4. 11、8. 6、 11. 21	横須賀地区委員会	2 回 R6. 10. 17、R7. 2. 4
福利厚生委員会 (表彰審査会)	4 回 R6. 4. 16、8. 26、 11. 25、R7. 2. 7 (1 回 R7. 2. 7)	県央地区委員会	5 回 R6. 4. 26、8. 1、10. 7、 11. 27、R7. 2. 19
		湘南・県西地区委員会	6 回 R6. 4. 26、6. 7、8. 27、 10. 17、12. 4、R7. 2. 14
建設廃棄物特別委員会	2 回 R6. 7. 16、R7. 1. 21	情報活用部会	2 回 R6. 4. 22、11. 18
医療廃棄物部会	4 回 R6. 4. 9、6. 6、11. 14 R7. 2. 13	収集運搬部会	1 回 R6. 10. 28
安全衛生協議会	2 回 R6. 5. 15、10. 25	青年部会	全体会 1 回 R6. 4. 5 臨時総会 12. 6 幹事会 12 回 R6. 4. 5、5. 10、 6. 1、7. 5、8. 2、9. 6、10. 4、 11. 8、12. 6、R7. 1. 10、2. 7、 3. 7 定例会 5 回 R6. 6. 1、8. 2、 10. 4、12. 6、R7. 2. 7
法制度整備委員会	3 回 R6. 4. 17、12. 10、 R7. 1. 28		
受託事業等推進委員会	4 回 R6. 5. 28、7. 9、 8. 6、 10. 1	役員選考・推薦委員会	－
災害廃棄物委員会	1 回 R7. 2. 7	倫理委員会	R7. 2. 27

共益事業

1 会員及び会員の従業員の元気回復、懇親等の福利厚生に関する事業

会員及び会員の従業員の精神的安定、元気回復等のため、ゴルフコンペ等を開催しました。

行 事 名	開催日	会 場	参加者数
RCK 会ゴルフコンペ	R6. 5. 16	小田急藤沢ゴルフクラブ	20 名
観劇会（宝塚歌劇）	R7. 2. 8	東京宝塚劇場公演	50 名
RCK 釣り大会	-	-	-
RCK 会ゴルフコンペ	R6. 10. 10	芙蓉カントリー倶楽部	16 名
賀詞交歓会	R7. 1. 20	アパホテル&リゾート ＜横浜ベイタワー＞	211 名

2 会員及び会員の従業員の県外施設見学会に関する事業

会員による先進・模範的な県外施設の視察研修会を行いました。

行 事 名	開催日	見 学 先	参加者数
未実施			

3 会員に対する各種資料の配布や情報提供等に関する事業

行政や関係団体からの各種通知、案内等の情報について通知するとともに、ホームページへの掲載や事務局内に配架等しました。

- ・会員への行政情報等の提供：月 1 回程度送付（随時）
- ・ホームページへの掲載：随時更新
- ・フェイスブック、LINE 公式アカウント公式への掲載：随時
- ・メールマガジンによる情報配信
- ・会員専用サイトの運営
- ・許可更新期限の通知

管理事業

1 総会、理事会等の開催

協会運営の基本となる事項を協議・決定するため、定時社員総会、理事会、企画・財政委員会等を開催しました。

(1) 総会開催事業

令和 6 年度定時社員総会

開催日	場 所	出席者	議 案 等
R6. 6. 19	アパホテル&リゾート横浜タワー (横浜市)	出席 105 社 代理人決議 20 社 書面議決 205 社 合計 330 社	【議事】 1 令和 5 年度事業報告及び令和 5 年度収支決算報告、令和 5 年度監査報告、役員の改選 【報告事項】 1 令和 6 年度事業計画及び令和 6 年度収支予算 【表彰】 1 協会表彰 2 安全衛生協議会表彰 3 全産連表彰

(2) 理事会・常任理事会等開催事業

ア 理事会

開 催	開催日	場 所	出席状況	協 議 事 項
第8期第4回 定時理事会	R6.5.15	万国橋会議セ ンター405 会議 室	理事 21 名	【協議事項】 1 業務執行状況報告等について 2 新規加入会員について 3 令和5年度事業報告・収支決算報 告 4 役員選任について 5 令和6年度社員定時総会開催方法 ほか 【報告事項】 ・安全衛生協議会安全衛生表彰に ついて
第8期第5回 定時理事会	R6.6.19	アパホテル& リゾート横浜 タワー	理事 24 名	【協議事項】 1 業務執行状況報告等について 2 青年部会規程の改正について 【報告事項】 ・総会・臨時理事会の進行方法等
第8期第6回 定時理事会	R6.9.11	産業貿易セン ターB102 会議 室	理事 24 名 監事 1 名	【協議事項】 1 業務執行状況報告等について 2 新規会員加入促進について 3 協会専門委員会及び部会の委員会 再編について
第8期第7回 定時理事会	R6.12.18	産業貿易セン ターB102 会議 室	理事 20 名 監事 1 名	【協議事項】 1 業務執行状況報告等について 2 新規加入会員について 3 専門委員会等の見直しについて
第8期第8回 定時理事会	R7.3.12	産業貿易セン ターB102 会議 室	理事 15 名 監事 1 名	【協議事項】 1 業務執行状況報告等について 2 新規加入会員について 3 専門委員会等の見直しについて 4 令和7年度事業計画及び予算につ いて

イ 常任理事会

開 催	開催日	場 所	出席状況	協 議 事 項
令和6年度 第1回	R7.2.27	シルクセンタ ー地下会議室	12 名	1 専門委員会及び部会等の委員会の 再編について 2 令和7年度事業計画について

ウ 正副会長会議

開 催	開催日	場 所	出席状況	協 議 事 項
令和 6 年度 第 1 回	R7. 2. 7	シルクセンタ ー地下会議室	12 名	1 専門委員会及び部会等の委員会の 再編について 2 令和 7 年度事業計画について

エ 県との資源循環推進懇話会・情報交換会

開催日	場 所	内 容	参加者
R6. 12. 18	産業貿易センタ ーB102 会議室	・ 県への要望回答について ・ 災害廃棄物対策について ・ 県議会での質問・回答状況について	県幹部等 5 名 理事・監事 20 名

2 組織の強化・拡大、加入促進

協会の組織強化・拡大のため、令和 6 年 10 月に、県内産業廃棄物処分業者（処分業許可数 386 事業者）のうち、非会員の 164 事業者に対して、①入会依頼文書（会長名）②入会案内リーフレット③意向確認アンケートを送付するとともに、入会の意向や関心のある業者に直接勧誘するなど入会促進の取組を行った。併せて、加入促進期間として、令和 6 年 10 月から令和 7 年 3 月末までの間、新規加入者に対して入会金を免除することを令和 6 年 9 月の理事会で議決しました。

また、理事が中心となって業務上の関連がある未加入業者等に対し、協会への加入を促進しました。

(1) 会員入退会、名簿の作成・訂正事業

- ・ 令和 6 年度の会員の異動状況

区 分	会員数 (R6. 3 末現在)	会員数 (R7. 3 末現在)	異 動 状 況		会員数 増 減
			加入	退会	
正 会 員	467	465	6	8	△2
賛助会員	59	63	6	2	4
合 計	526	528	12	10	2

- ・ 会員名簿（2024. 7. 1 現在）作成 650 部
- ・ 会員名簿（2024. 7. 1 現在）会員専用サイト掲載、会員名簿訂正表随時更新
- ・ 協会ホームページ用 会員名簿 随時更新

(2) 会費収入管理事業

会員から納入された会費を管理しました。

3 事業報告等の提出及び公益法人変更登録等

令和 6 年度定時社員総会における令和 5 年度事業報告・収支決算報告の決議を受け、神奈川県へ事業報告の提出を行いました。

また、第 8 期第 8 回理事会における令和 7 年度事業計画・収支予算及び資金調達等の決議を受け、神奈川県へ提出しました。

4 事務局の運営

その他協会運営に必要な事務局の運営などを行いました。

(1) 調査回答事業（協会の管理に係るものに限る。）

全産連や他団体等からの調査照会に回答しました。

(2) 全産連総会等参加事業

全産連通常総会や関東地域協議会等に参加しました。

(3) 事務局管理運営事業

その他協会運営に必要となる事務局の運営や理事会・各委員会の開催準備・記録作成、各委員会の行事の開催準備などを行いました。